

World Vision

Closure report 2019

終了報告書

Bangladesh 人民共和国
カルマカンダ地域開発プログラム
BGD-169848 (1994年～2019年度)



ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

低体重の
子どもの割合

2008年 2016年



60.6% 28.7%

安全な飲み水が
手に入る世帯の
割合

2008年 2016年



15% 65.36%

小学校の
就学率

2001年 2016年



65% 95.8%

Education



教育

学習環境が改善し、
就学率が向上しました

劣悪な学習環境や貧困により、就学率や識字率が低い状態でした。授業料や制服、学用品などの支援や、校舎や校庭の建設・整備、机やイスなどの備品提供を通し、学習環境を整えました。合計10カ所の就学前教育センターを設立し、多くの子どもたちが小学校入学に向けた準備ができています。また地域住民の教育への理解が深まり、就学率も向上しました。成人を対象とした識字教育や教育の啓発活動から、女性の社会進出に貢献することができました。また、地域のさらなる発展に日々努めている住民の中には、支援開始当初に支援を受けていた元チャイルドで、今は教員や医療従事者になった人もいます。



支援前

1998年に建設した校舎。
すぐ目の前は田んぼでした

Health



保健衛生

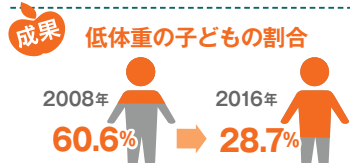
子どもの健康・栄養状態
が改善しました

地域では、長い雨期であふれ出た汚水や地下水のヒ素汚染により、水が原因の病気が頻発していました。また、予防接種や栄養価の高い食事の重要性についての意識も低く、多くの子どもが病気や栄養不良になっていました。保健衛生に関する啓発活動や、井戸やヒ素ろ過装置、トイレの建設により衛生環境を改善しました。また、栄養プログラムを通して地域内で手に入る食材を使って栄養価の高い食事作りを指導・普及することで、多くの子どもたちの栄養状態が改善されました。今では、病気の治療や産前産後の健診のために地域の保健施設に通う人も増え、栄養プログラムは住民の主導で実施されるようになっていきます。



支援前

栄養のある食事の作り方を知らない母親
が多く、低体重の子どもが多くいました



Economic development



経済開発

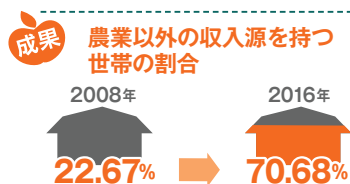
収入源が多様化し、
世帯の収入が大幅に増加

支援開始当初は、多くの世帯の主な収入源が農業のみだったため、収入が少なく不安定な状況でした。支援を通し、より生産性の高い農法のトレーニングや漁業・畜産・小売業などの促進、また市場との繋がりの強化を行ったことで世帯の収入が大幅に増加しました。また、貯蓄グループや住民組織を中心に貯蓄と融資の利用を始め、ビジネスの開始や拡大により、多くの世帯が安定した収入を得られるようになりました。現在では、住民組織によって仕立屋や小売店、薬局が運営され、利益は貧困世帯の援助や洪水被害の対応に活用されています。



支援前

農業が主な収入源でした



Life improved



道路や橋建設

多くの道路・橋が整備され、雨期
でも移動がしやすくなりました

雨期には地域の盆地全体が冠水し、通学や市場、病院へのアクセスが閉ざされていました。また、洪水が頻発し、道路や橋が崩壊することも多くありました。そのため、道路の修復や整備、橋の建設、道路枠の植樹などを行いました。これらの活動は、地域住民によって実施され、以前は雨期に川が氾濫し孤立していた地域住民も、中心部への移動がしやすくなり、多くの人々の生活が変えられました。これらの橋や道路は、現在でも地域住民の日々の暮らしに役立っています。



支援前

竹で作られた橋。雨期には川が氾濫し、
この先に住む人は隔離状態でした

カルマカンダ地域 開発プログラム マネージャーよりごあいさつ



カルマカンダ地域開発プログラム
マネージャー
ユージン・ロドリゲス

カルマカンダ地域の子どもたちのために、皆さまの長期に渡る寛大なご支援に感謝いたします。当初、脆弱な交通システムや、清潔ではない水と衛生施設、特に女子生徒の高い退学率、早婚、低収入など多くの課題がありました。ご支援により、子どもたちも地域の人々も安心して平和な生活を過ごせるようになりました。これらすべては、皆さまの温かいご支援により実現することができました。この喜びを、まだ支援を必要としている別の地域に暮らす多くの子どもたちを通して、引き続き実現していただければ幸いです。カルマカンダ地域へのご支援を、ありがとうございました。

地域代表者からのごあいさつ

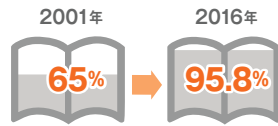


地区行政の代表者
A.K.M.
ハデイスザマン氏

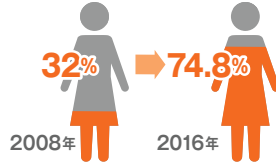
カルマカンダ地域の子どもたちのためにご支援くださり、心から感謝いたします。ご支援のおかげで人々の生活に変化が起きました。住民たちが地域組織を主導し、経済的に自立できるようになりました。校舎の建設や改修に加え、子どもたちが授業料や給付金の支援を受け、たくさんの子どもたちが学校に通えるようになり、成績も向上しました。家庭や地域内にトイレが設置され、衛生状態が改善されました。また、清潔で安全な水が飲めるようになりました。これら多くの変化をもたらしてくださったのは、スポンサーの皆さまです。ありがとうございました。

成果

小学校の就学率



地域の発展に向けた活動に参加している女性の割合

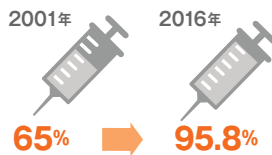


支援後

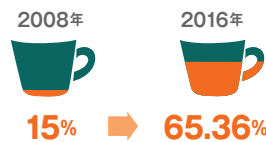
校庭を整備し、子どもたちが安心して学び、運動ができる環境になりました

成果

2歳未満児の予防接種率



ヒ素汚染のない安全な飲み水が手に入る世帯の割合

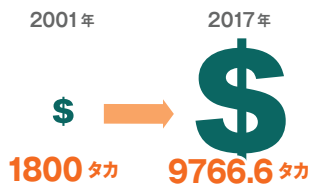


支援後

栄養プログラムを通し、多くの子どもが栄養不良ではなくなりました

成果

世帯の平均年間収入



住民組織メンバーの融資利用率



支援後

貯蓄グループから融資を受けて運営している仕立屋

成果

1998年から2007年の間に建設されたコンクリート製の橋の数



支援後

二輪車が通れる橋が建設され、急病人や妊婦など多くの命が救われました

皆さまとともに歩んだ 25年間の支援と成果

コミュニティ
開発期
1994年度
▼
2000年度

- ◎ 事業対象地域の状況調査
- ◎ 衛生的なトイレや、給水管付き井戸、校舎の建設
- ◎ 子どものための健康診断や予防接種の実施や、授業料と給付金の提供



地域の課題を話し合う住民たち



予防接種（ポリオの経口薬投与）の様子

第1期
2001年度
▼
2006年度

- ◎ 雨水貯水池や、校舎の建設
- ◎ 栄養プログラムや、冬野菜種子の配布、職業訓練の推進
- ◎ 子どもたちのための制服の提供



支援された栄養補助食の使い方を学ぶ地域の母親



制服の支援を受ける子どもたち

第2期
2007年度
▼
2011年度

- ◎ 安全で清潔な水施設や校舎、道路の建設と改修
- ◎ 職業訓練のための裁縫プログラムを実施
- ◎ 家庭の収入源の向上のため家庭菜園や、アヒル飼育のための研修プログラムを実施
- ◎ 地域住民への災害時の対応についての研修を実施



アヒルの飼育を実践



整備された井戸の水を飲む子どもたち

第3期
2012年度
▼
2016年度

- ◎ 農業や水産業への助成金や器具の支援、裁縫技術向上プログラム、低体重児の母親や、弱い立場にある家庭のための栄養改善プログラムを実施
- ◎ 地域や家庭に衛生的なトイレの設置と、歩道橋の建設と改修
- ◎ 地域住民との協力で、就学前教育センターを設立
- ◎ 地域住民への子どもの権利についての研修や、子どもたちへのリーダーシップ能力向上のための研修の実施



地域に設置されたトイレ



就学前教育センターの様子

支援卒業
準備期
2017年度
▼
2019年度

- ◎ 安全な飲み水の確保と健康習慣の継続のため、保健衛生プログラムを強化
- ◎ 教員や保護者へのライフ・スキル教育の啓発や、子どもの権利を守る子育て方法についての研修を実施
- ◎ 災害対策委員会のメンバーに対し、災害時の対応強化のための研修を実施
- ◎ 子どもフォーラムの定期的な実施と、地域や国レベルでの実施を支援



子どもの権利についての研修



国際女性の日イベント

支援を受けたチャイルドのストーリー

これからは私がカルマカンダ地域の子どもたちを支えていきます

モナさん
(27歳)

モナさんは大学卒業後、生まれ育った地域のために働きたいと思い、カルマカンダ地域の小学校で教師として働いています。モナさんが支援を受ける前のことを話してくれました。

「家族の経済状況は厳しく、その日暮らしの生活を強いられていました。父は家族のために、土地や財産をすべて売りました。それでも食べるものがなく、2、3日食わずに過ごしたことがよくありました。当時を思い出すと恐ろしくなります」

そんな中、ワールド・ビジョンの活動に参加するようになり、生活が変わりました。「支援により、教科書やノート、毛布、蚊帳などを受け取りました。また、両親が研修を通し子どもの権利や教育の重要性を理解してくれたので、私は小学校から大学まで奨学金の支援を受け、大学を卒業できました。もし支援がなければ、今の私にはなれなかったと思います。支援のおかげで、教師になることができました」

最後にスポンサーへの想いを話してくれました。

「スポンサーの方には心から感謝しています。これからも世界中の弱い立場にいる子どもたちのために、支援を続けていただければ幸いです。私も、ここカルマカンダで、将来のある子どもたちを助けていきたいと思っています」

